

**東京マラソンチャリティ“つなぐ”
スポーツ・レガシー事業運営委員会を発足
為末大氏が委員に就任**

一般財団法人東京マラソン財団では、2020 年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京に決定したことを契機に、チャリティ事業の一環として「スポーツ・レガシー事業」を今大会から立ち上げました。現在、寄付総件数 4,362 件、また 3 億を超える (302,842,675 万円・平成 27 年 2 月 19 日現在) 寄付金をいただいております。ご協力いただきました皆様には心より御礼申し上げます。

皆様からいただいた寄付金については、スポーツ・レガシー事業運営委員会を発足し、具体的な寄付先や用途を決定していきます。

さらに、同委員会の委員として元プロ陸上選手の為末大 (ためすえ だい) 氏を迎えることとなりましたことお知らせします。

《スポーツ・レガシー事業 運営メンバー》

◇委員

東京マラソンレースディレクター 早野 忠昭 (はやの ただあき)

元プロ陸上選手 為末 大 (ためすえ だい)

日本陸上競技連盟 (調整中)

東京都 (調整中)

為末 大 (ためすえ だい) プロフィール



スプリント競技における日本初の世界大会メダリスト。五輪はシドニー、アテネ、北京の 3 大会に連続出場。2012 年に現役を引退。

執筆、テレビ出演等多方面でスポーツと社会についての活動を広げている。競技に打ち込む独自のスタイルと自分を見つめて思索する姿が感銘を呼び、「走る哲学者」と言われている。